



HYC レース本部艇 マニュアル

2013. 05. 20

※本部艇はサービス業と心得るべし。レース参加艇が楽しむことを第一に考える。

〈レース当日の準備〉

- 1 午前8時30分に、小戸 YH に集合。
- 2 レース委員長より受付用品一式を受け取る。(釣銭、電波時計、エントリー用紙など)
- 3 リミットマークブイ、各種信号旗、メガホン等を船に積み込む。
受付終了後に速やかに出港できるよう、出港準備を完了しておく。
- 4 レース委員長と相談のうえ、当日の気象条件を勘案してコースを決める。
- 5 受付時間は9:00~10:00。白板にコース略図、タイムリミット、本部艇連絡先を記入。
8:55頃と9:30頃に、1階事務所の放送設備を使い、受付の放送を行う。
放送内容は、受付時間、コース、本部船の艇名など。
- 6 10:00に受付を終了したら、ハーバー事務所に「行事開催届」と「出港届」を提出し、スタートライン設定海面に向け出港する。出港時点からHYC旗を掲揚しておく。本部艇は、HYC旗その他レース用のフラッグ以外はいっさい掲揚しないこと。誤認や勘違いのもとになる。

〈スタートラインの設定〉

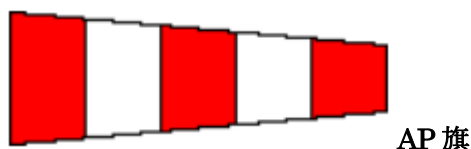
- 1 スタートラインは、ディングーなど他の競技や練習の邪魔にならないように設置する。冬場は海苔網が設置されるので、とくに注意して十分離す。
- 2 スタートラインは、まずリミットマークを打つ。アンカーが効いていることを確認する。
海面にラインが流れていないことを確認する。
- 3 マークが落ち着いたら本部艇を移動させ、第1レグにほぼ直交し、本部艇を右に見てスタートするラインになるよう、アンカーラインの長さを計算してアンカーを打つ。(博多湾はほぼ通年北風が卓越しているので、東西方向にラインを設定すればおおむね問題ない。) 東よりの風の場合でも、風に合わせて南北方向のラインにしなくてよい。ただし、若干の下有利となるように設定したほうが安全である(本部艇への接近や衝突を避けるため)。
- 4 ラインの長さは、概ね艇の全長×参加艇数を目安とする。
(15艇参加ならば、33フィート艇を平均として、全長約10m×15艇=150m)
- 5 本部艇のアンカーが効いていることを必ず確認すること。レース艇が衝突するのを避けるため、本部艇の船尾にフロートを浮かべる。
- 6 スタートラインの設置は、遅くともスタート20分前(10時40分)に完了するように努め

ること。設置が終わったら、HYC旗をいったん降下してスタート手順に備える。

〈レース・スタート手順〉

- 1 スタートラインの設置が終わったら、本部艇の乗員の役割を再確認すること。
マストに1名（ハンドマイクを持つ）、時計秒読み・記録係1名（フォグホーンを持つ）、フラッグの掲揚・降下係1～2名。
- 2 参加申し込みをしている艇がすべてスタート海面付近に集合していることを確認する。
もし足りないときは携帯電話でレース参加の意思を確認する。
もし、申し込みをしていないヨットが付近にいた場合は、レースの邪魔にならないよう離れてくださいと丁寧にお願ひする。とくにラインよりカミにいる艇には要注意。

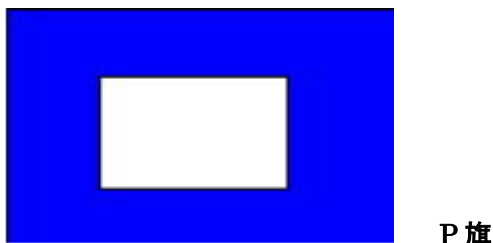
- 3 通常は、スタート時刻は午前11時とする。間に合わないときは回答旗（AP旗）掲揚。



- 4 予告信号：スタート5分前（午前10時55分）
HYC旗UP（旗が上がりきった時が丁度5分前）&長音一声（5秒）



- 5 準備信号：スタート4分前（午前10時56分）レース艇はこの瞬間までにエンジン停止すること。P旗UP & 長音一声（5秒） *HYC旗は揚げたまま



- 6 スタート1分前：P旗 DOWN & 長音一声（5秒）秒読み開始。時計係はマスト係とフラッグ係に聞こえるよう、50、40、30、20秒、以降毎秒、秒読みする。

- 7 スタート：HYC旗 DOWN & 長音一声（5秒）

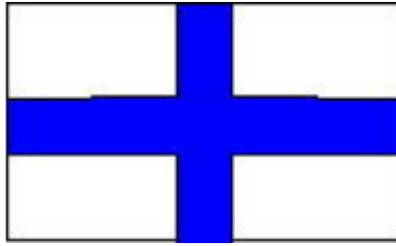
- 8 スタートラインはリミットマークと本部船のマストを結ぶラインである。スタートの瞬間に船体の一部でもラインを越えていたら、その艇はフライングとなりリコールされる。その判定をするために、本部艇のマストの前に立ち、リミットマークを見てフライングを判定する。

- 9 リコール艇がなく、全艇が正規のスタートを切った場合、ハンドマイクで「オールフェア！」の声を発する。
スタートに遅れた艇がいたら、20分程度は待つ。それ以降はDNSとする。

リコール

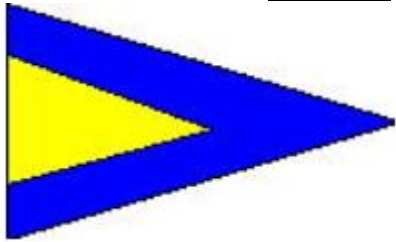
★ 全リコール艇名確認可能 ⇒ X旗UP & 長音一声（5秒）リコール解消もしくは10分

後にX旗 DOWN *ハンドマイクを使い、大きな声でリコール艇名（セールナンバー）を叫ぶ。リコールを復帰しない艇があった場合は、記録用紙にその旨（OCS）記載する。リコールを解消した艇には、「〇〇艇、リコール解消！」とハンドマイクで叫ぶ。



X旗

★ 確認不能艇あり ⇒ 直ちに第1代表旗UP & 長音2声（5秒）：ゼネラルリコール



第1代表旗

ゼネラルリコール（ゼネリコ）

★ 基本は、本来のスタート時刻の10分後に再スタート（午前11時10分）

但し、参加艇の復帰状況により、臨機応変に対応する。

★ 第1代表旗を掲げ、スタート6分前の11時4分に第1代表旗 DOWN & 長音一声

★ 第1代表旗 DOWN 後、正確に1分後（11時5分）に5分前の予告信号を発する。

★ 後は、通常のスタート手順に準じる。

★ 記録係はスタート時刻を記録する。

スタートしていない艇があったら、20分程度は待つ。スタートしなかったら（DNS）と記録する。

〈レース・フィニッシュ手順〉

- 1 スタート後、いったん本部艇のアンカーを揚げ、最終レグに直交し、本部艇を左に見てフィニッシュするような位置にフィニッシュラインを設置する。風向は考慮しなくてよい。リミットマークは動かさないこと。
- 2 フィニッシュラインは、スタートラインより短くする（80m程度）。
- 3 HYC 旗を掲揚する。（レース艇が本部艇を視認できるようなるべく早めに）
- 4 フィニッシュとは、船体の一部がフィニッシュラインを越えたとき（スピナーカーも船体の一部である。人体は船体ではないので注意する）。短音1声を発する。
- 5 記録係はスピナーカーの色・セールナンバー・船名表示等により、艇名を判断して記録用紙にフィニッシュ時刻を書き込む。艇名に不安を感じたら遠慮なく聞いて確かめる。
- 6 レース途中に、レース艇からリタイヤの連絡を受けたら、すみやかに記録用紙に記入する。
- 7 レース艇から抗議の意思が示された場合は、HYC では抗議を受け付けない旨を丁寧に説明する。ただし、抗議の内容は把握し、記録用紙にメモしておく。
- 8 全レース艇がフィニッシュしたら、アンカーを揚げ、マークを回収して帰港する。
- 9 記録用紙その他、レース委員長より受け取った用品一式を返却する。おつかれさま。